



平成 29 年 7 月 20 日

各 位

会 社 名	安川情報システム株式会社
代表者名	代表取締役社長 諸星 俊男 (コード番号 2354 東証第 2 部)
問合せ先	取締役管理本部長 久野 弘道 (TEL. 093 - 622 - 6111)

中期経営計画の改訂に関するお知らせ

当社は、平成28年8月3日付で公表しました2016年～2018年度の中期経営計画「Challenge for Excellence」を下記のとおり改訂しましたので、お知らせいたします。

記

1. 改訂の理由

当社グループは、平成 28 年 8 月 3 日に開示いたしました 2016 年～2018 年度の中期経営計画「Challenge for Excellence」に基づき事業を展開しておりますが、次の事象による影響及び「平成 30 年 2 月期 第 1 四半期決算短信」で開示のとおり事業区分を変更したことを加味し、中期経営計画の目標金額を調整し改訂するものです。

- ①平成 28 年 11 月 30 日に開示しております「連結子会社の異動（株式譲渡）及び特別利益の発生に関するお知らせ」のとおり、子会社であった安川情報エンベデッド株式会社を売却したこと
影響額：2017 年度連結売上高 5 億円減少 及び 2018 年度連結売上高 7 億円減少
(なお、連結営業利益、連結経常利益への影響はありません。)

- ②平成 29 年 2 月 16 日に開示しております「決算期（事業年度の末日）の変更に関するお知らせ」のとおり、決算期の末日を 2 月末日に変更すること
影響額：2017 年度連結売上高 10 億円減少、連結営業利益及び連結経常利益 それぞれ 1.5 億円減少
(なお、2018 年度はこの決算期変更による影響はありません。)

今後も本計画に基づき、計画達成に向けて取り組んでまいります。

2. 数値目標

(下線部は修正箇所を示しております。)

【修正前】

(単位：億円)

	2016年度目標	2017年度目標	2018年度目標
連結売上高	134	<u>155</u>	<u>175</u>
連結営業利益	4.2	<u>6</u>	10
連結経常利益	4.2	<u>6</u>	10

【修正後】

(単位：億円)

	2016年度目標	2017年度目標	2018年度目標
連結売上高	134	<u>140</u>	<u>168</u>
連結営業利益	6	<u>4.5</u>	10
連結経常利益	6	<u>4.5</u>	10

詳細につきましては、添付資料をご参照ください。

以上

2016～2018年度 中期経営計画

Challenge for Excellence



IoTでスマートな未来へ

YASKAWA
安川情報システム株式会社

Challenge for Excellence

営業力・技術力・生産性等あらゆる面でのエクセレントカンパニーを目指し、ビジネスモデルの変革とコスト構造改革による将来への成長基盤固めに取り組みます。

方針1. ビジネスモデルの再構築と付加価値の追求によるビジネスの成長

方針2. 技術力の強化とコスト構造改革による企業競争力の強化

方針3. 成長を支える企業風土への変革

中期経営計画の基本方針 2/2

方針1. ビジネスモデルの再構築と付加価値の追求によるビジネスの成長

- a. 価値提案による顧客パートナーシップの強化と新規顧客の開拓 【営業力の強化】
- b. 製品戦略・チャネル戦略とプロモーションの強化 【マーケティングの強化】
- c. サービス・ビジネスの確立による収益の拡大 【サービス・ビジネスの確立】

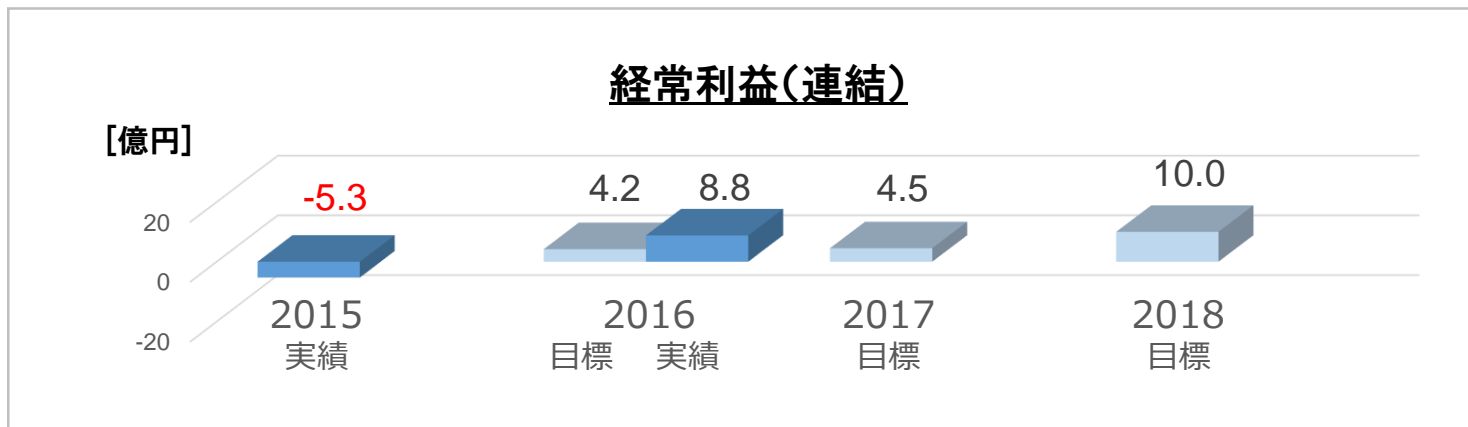
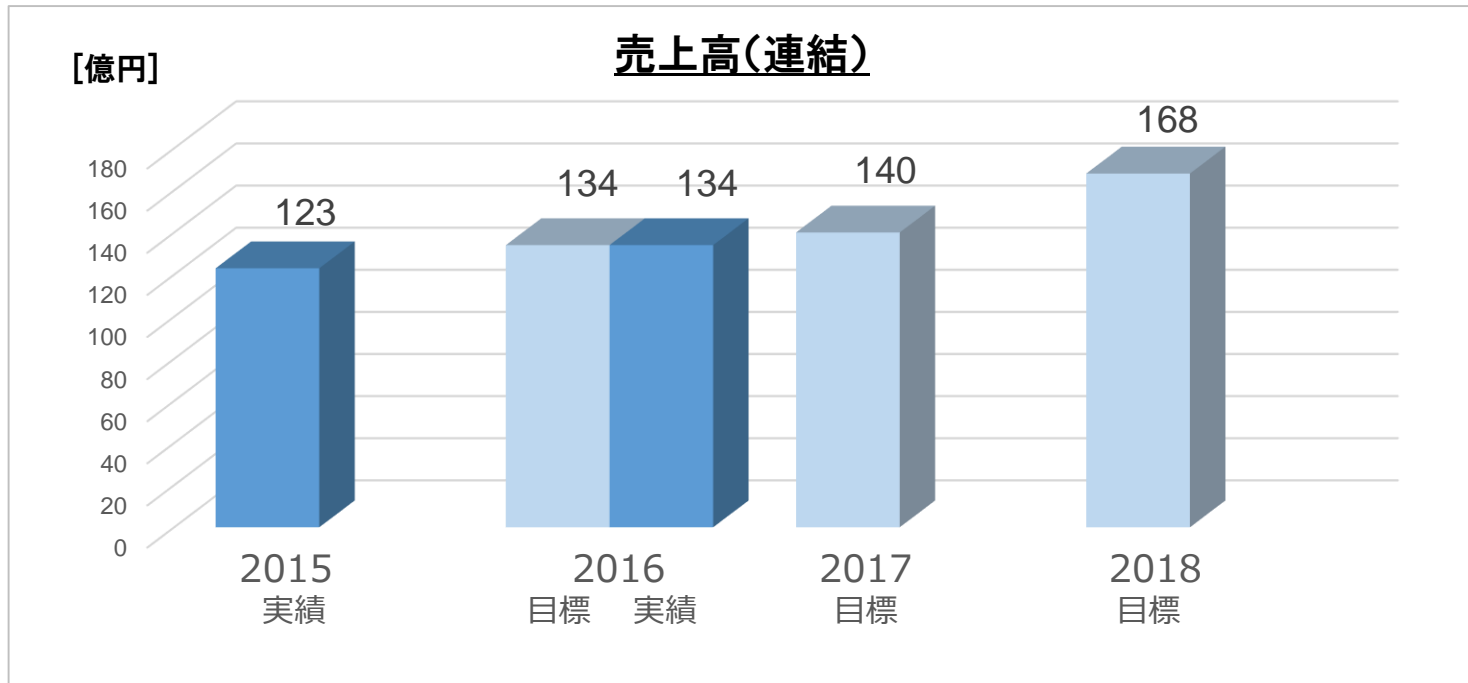
方針2. 技術力の強化とコスト構造改革による企業競争力の強化

- a. 得意技術・先進技術によるお客様価値の創造 【技術力の強化】
- b. 業界他社に比肩する収益構造の確立
- c. 情報基盤強化とプロセス変革による間接業務の効率化・省力化
- d. プロフェッショナル意識の向上と生産性の向上
- e. コンプライアンスの徹底によるリスクの排除

方針3. 成長を支える企業風土への変革

- a. 達成へのコミットメントと成果に応じた評価・報酬(営業コミッション導入等)
- b. ローテーションと働き方改革による活力溢れる組織づくり

経営計画の業績目標(子会社売却等による見直し後)



当社の主力事業(事業区分見直し後)

IoTソリューション

クラウドサービスから通信機器までIoTでお客様の業務効率化を支援。AIを活用したデータ分析技術でお客様に新たな価値を創造します。

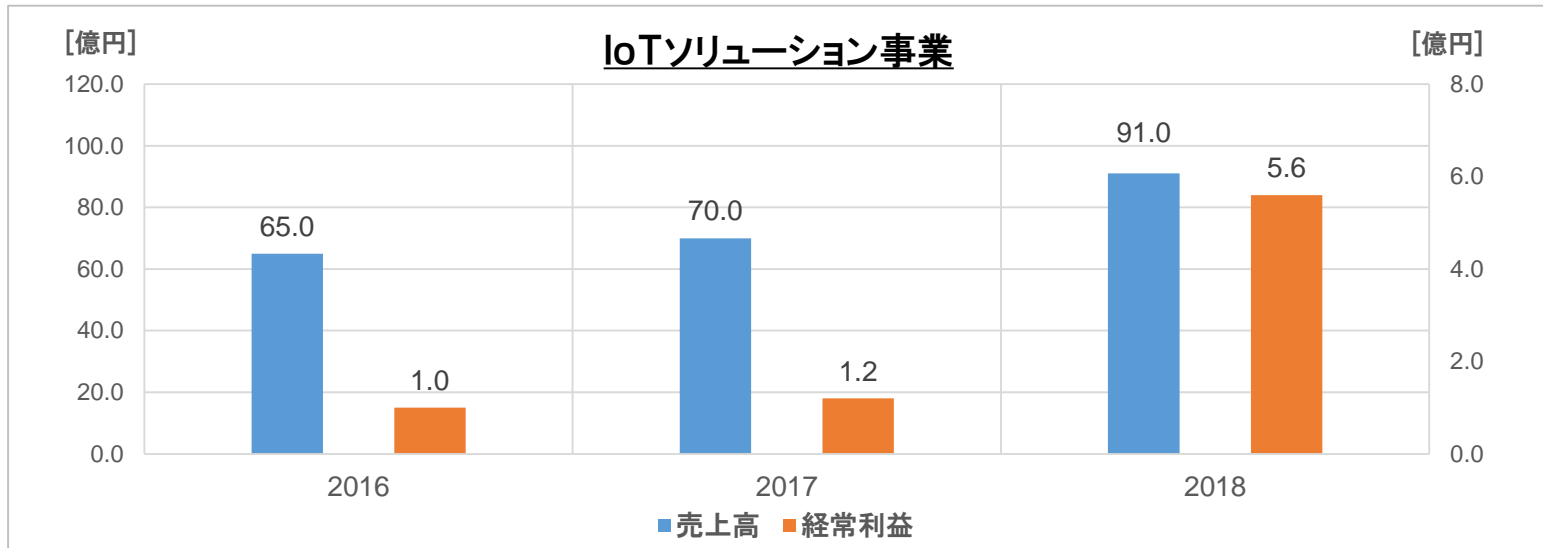
- スマートファクトリー
- IoT/M2Mソリューション
- AI・ビッグデータ分析
- 医療機器メーカー向けシステム開発
- 倉庫物流システム
- 製品組込開発
- 学校ICTソリューション



ビジネスソリューション

ERPを中心とした業務システム構築、運用、保守の豊富な実績を活かし、ICTによる新たな価値創造でお客様の経営強化を支援します。

- 顧客業務システム
- ERP(SAP他)/グローバル展開支援
- システムコンサルティング
- 運用支援・保守
- 健康保険システムの構築



注力分野

IoTシステム分野

- ✓ クラウドサービスビジネス強化
- ✓ エッジコンピューティング
- ✓ 先端通信技術(LTE, LPWA)

方針
1-c
2-a

制御システム分野

- ✓ スマートファクトリー
- ✓ 鉄道運行管理シミュレーター

方針
1-a,b
2-a

製品組込・医療機器分野

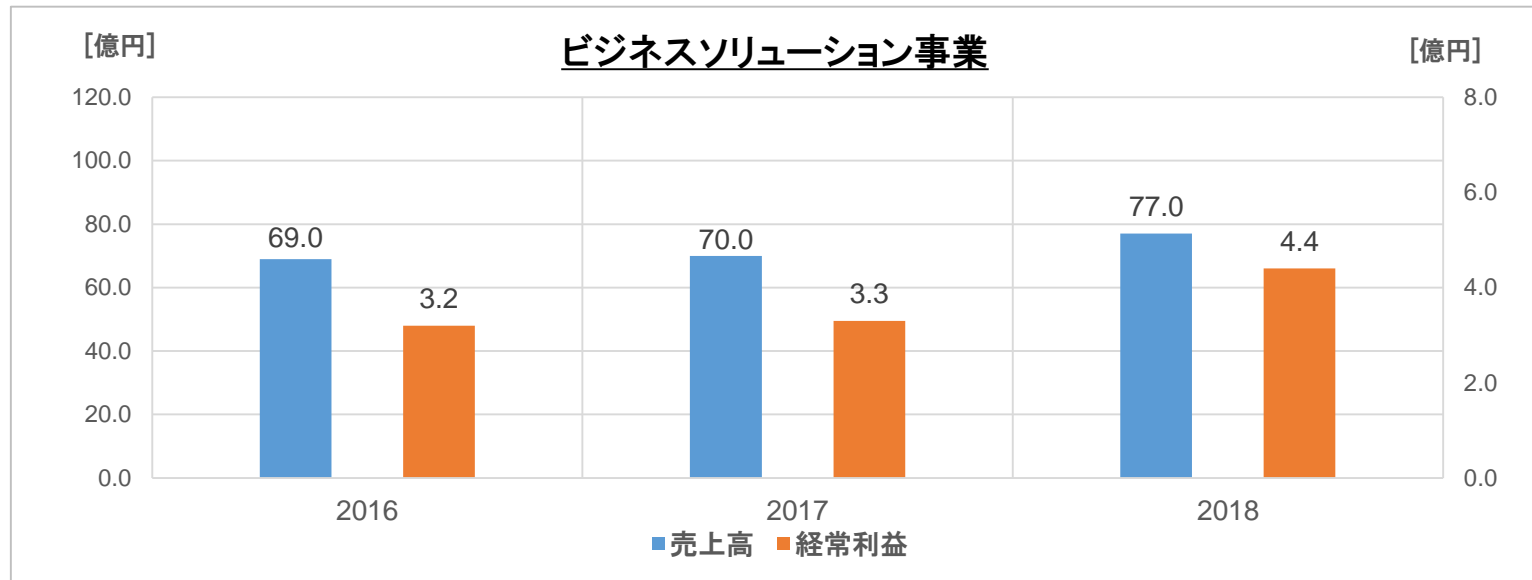
- ✓ ソフトライセンスビジネス強化
- ✓ 保守・サービス分野の開拓・強化
- ✓ ロボットスマートエンジニアリング

方針
1-a,b,c
2-a

新技術の確立および 製品・ソリューションへの展開

- ✓ AI
- ✓ セキュリティ
- ✓ ビッグデータ解析技術

方針
2-a



注力分野

SAPを中心とした事業展開の強化

- ✓ S/4 HANAへの取組
- ✓ パートナー戦略の強化

方針
1-a,b

次世代ICTへの取り組み強化

- ✓ 提案活動強化
- ✓ プロセス革新の専門家
- ✓ クラウド、サーバー仮想化技術

方針
1-a,b
2-a
3-a

新規ソリューション創出と外部展開の強化

- ✓ アカウントプランをベースにした営業強化

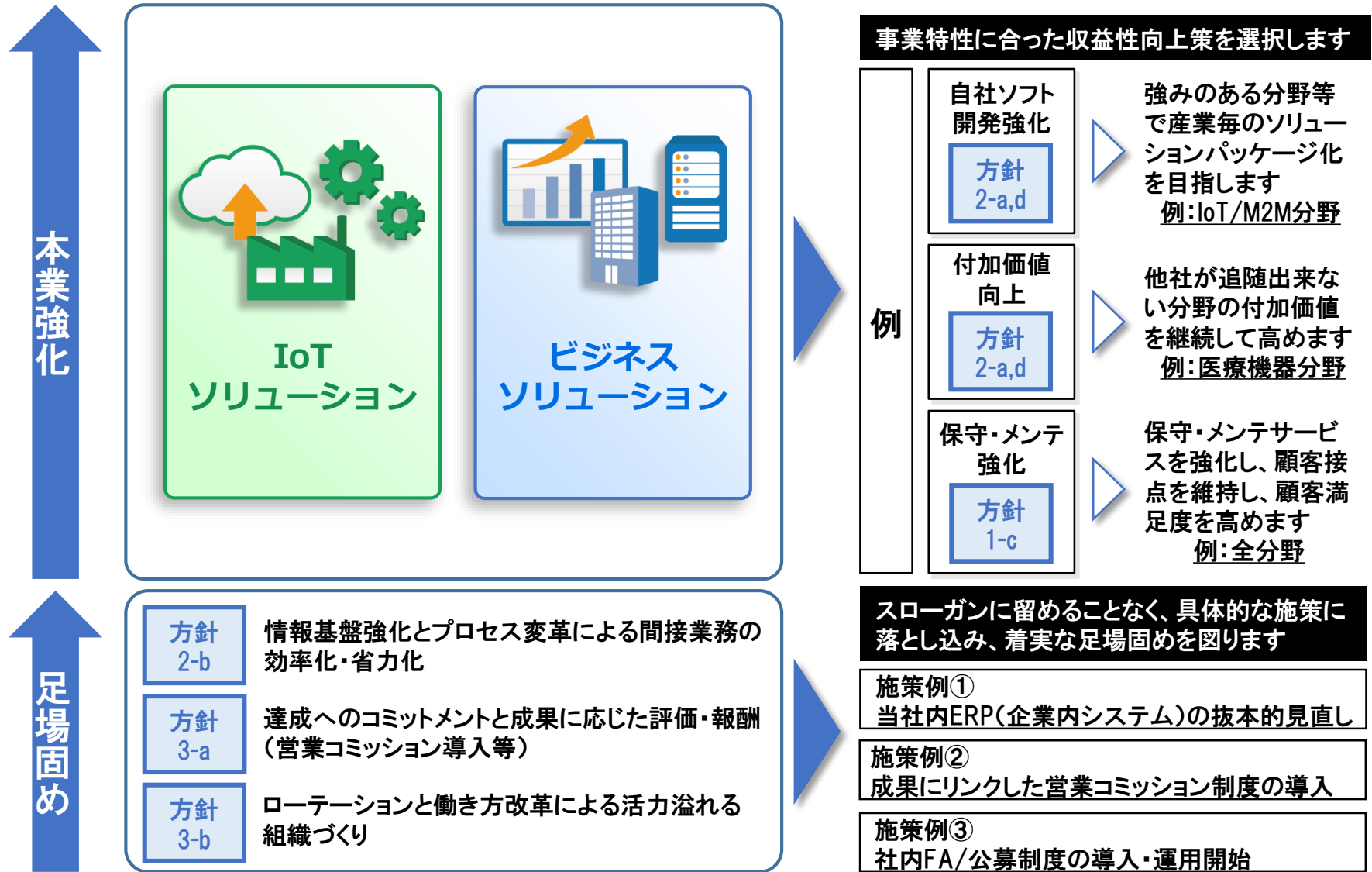
方針
1-a

健康保険システム

- ✓ 安定稼働の担保・保守・メンテ
- ✓ 安定稼働を通じた受託領域拡大

方針
1-c
2-a

「Challenge for Excellence」実現の道筋



1. 工場内で発生する全てのデータを共有化することで、複雑・多様な製品の迅速な市場投入を実現。
2. サプライチェーンの最適化により、多品種少量生産を低価格・短納期で達成するつながる工場を実現。
3. AIを活用した故障予知により、止まらない工場を実現。
4. ロボット等の革新により自律した完全自動化工場を実現。

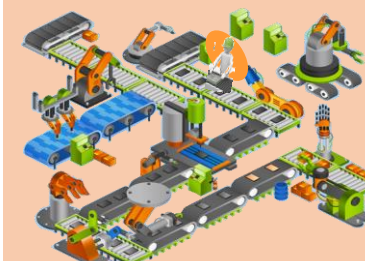
エムエム スマート ファクトリー

MMsmartFactory

製造業の イノベーション

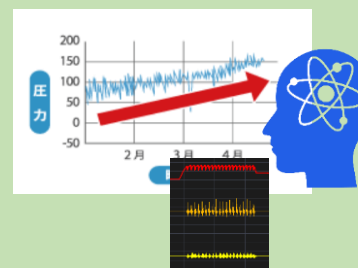
完全自動化

AI最適自動運転
AI自動手配
AI自動復旧 など



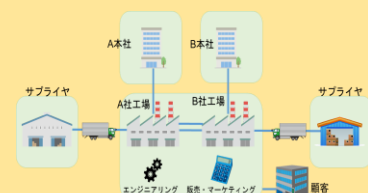
止まらない工場

AI故障予知
AI設備保全



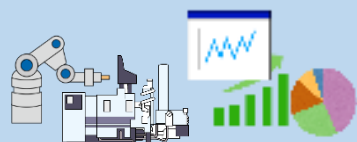
つながる工場

国内外工場連携
工場・本社連携
関連工場連携



見える工場

工場設備の可視化
製造実績の可視化
生産計画の最適化
製造実行の最適化



工場のスマート化をワンストップで支援

適用

スマートな設備管理

スマートな経営管理

スマートな制御技術

スマートなテクノロジー

分野

お客様の競争力強化を支援する
IoT/M2Mサービス

グローバルに生産管理と経営を繋ぐ
グローバルERPサービス

あらゆる制御プロトコルに精通した
制御システム構築技術

業務の自動化、AI、セキュリティ等の
高い要素技術力

当社のソリューション

M2M通信端末 **MMLinkシリーズ** IoTクラウドサービス **MMCloud**

世界50ヶ国以上の認証を取得

米州 欧州 アジア 日本

グローバルIT

連結経営

開発 生産 販売

センサ制御	DIO制御
PLC通信制御	インバータ制御
SCADA制御	RTLS
同時制御	電力計測
暗号処理	リアルタイム制御
連動制御	HMI監視

- ・監視制御の構成要素を理解
- ・あらゆる制御プロトコルに精通
- ・リアルタイム制御とデータ処理
- ・豊富な監視・制御システム実績

ビックデータ AI分析による
ガイダンス

画像検査による
高精度
高速検査

高速暗号通信



工場のIoT化とシステムの垂直・水平連携によりスマートファクトリーを実現

工場設備の可視化

所在管理・動線分析・AI品質

生産の最適化・効率化

MES導入

製造実績の可視化

生産の自動化・省力化

導入事例：半導体製造装置メーカー TOWA様

システム概要

- ・海外及び国内に納入した半導体製造装置の稼働状況を遠隔自動監視。
- ・異常発生時のプッシュ型通知および消耗品残量の把握などにより保守業務を迅速化／効率化。
- ・収集した情報を次世代開発に利活用。一部をエンドユーザに公開し、サービスとして提供。

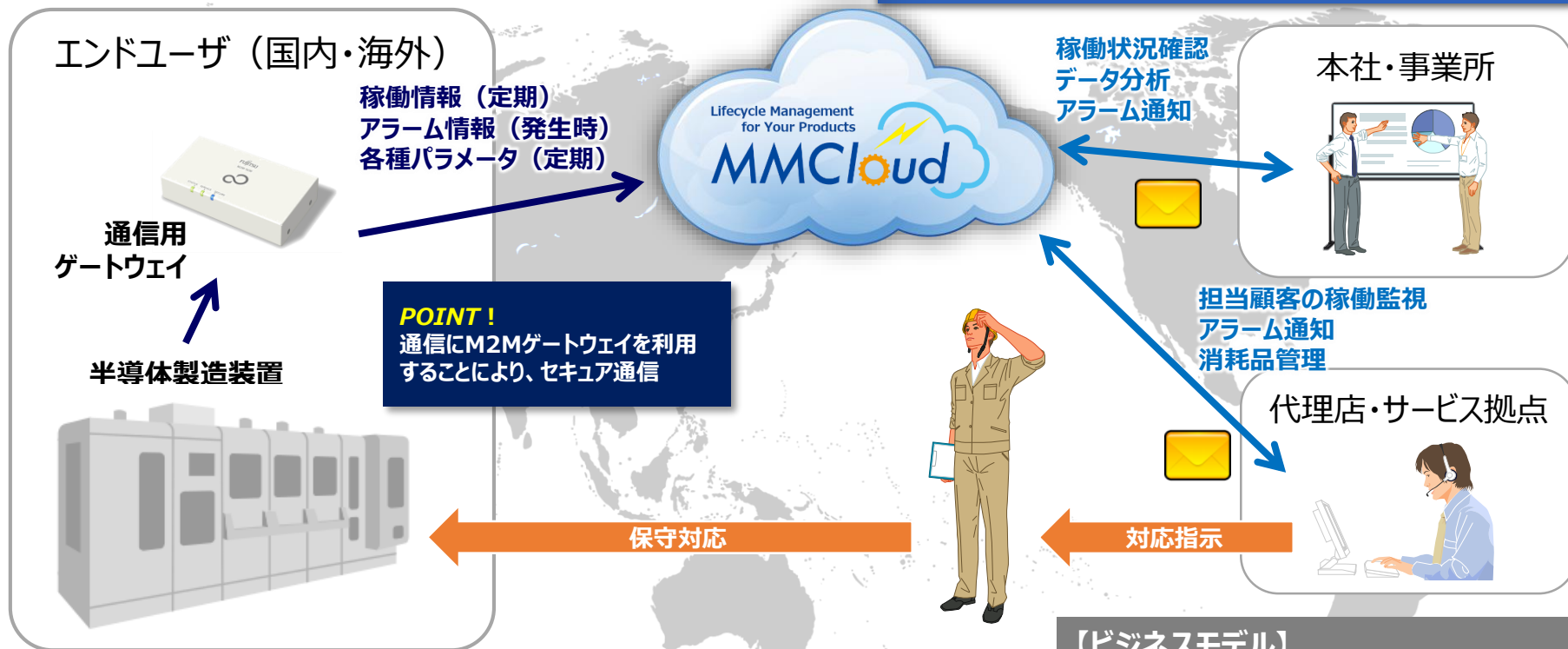
【システムイメージ】

【導入メリット】

保守業務
効率化

稼働率
UP

他社
差別化



【ビジネスモデル】

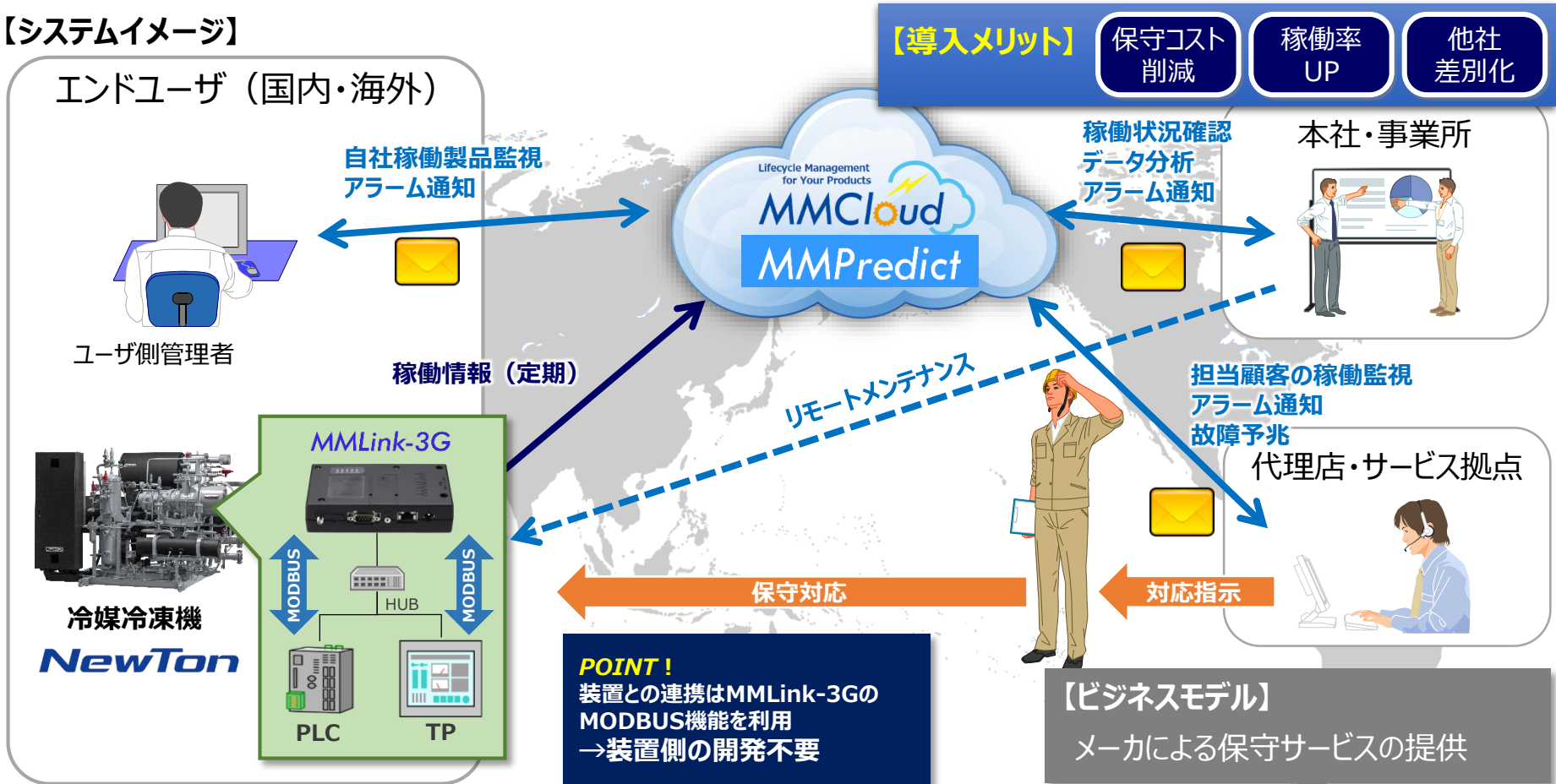
メーカーによる保守サービスの提供

導入事例：産業用冷凍機メーカー 前川製作所様

システム概要

- ・海外及び国内に設置した冷凍機の稼働状況を遠隔監視し、故障予知機能により予防保全を実施。
- ・異常発生時のリモートメンテナンス機能により保守業務を迅速化／効率化。
- ・収集した情報の一部を代理店、エンドユーザに公開し、サービスとして提供。

【システムイメージ】



コンサルティング事例：油圧ブレーカ販売 東空販売様

1. 東空販売様の課題

- ・重機・建機の製品販売だけでなく、保守・メンテナンスによる顧客満足度の強化を図りたい。
- ・重機パーツ単体の稼働状況を観察し、高価（重要）な部品にダメージを与える前に交換したい。
- ・エンドユーザ様に納得のいく交換修理時期を提示したい。
- ・異常を検出した場合、即座にエンドユーザ様に通知したい。

2. 東空販売様が目指すサービス

- ・ブレーカのセンサ情報から振動分類をクラウドに蓄積、製品の振動状態を見える化し保守に活用するサービスを提供。
- ・エンドユーザに対し、最適なメンテナンスを提供できるようになり、トータルライフサイクルコストの低減を提供。

3. 安川情報システムのコンサルティング

課題

東空販売様の課題

独自で衝撃センサーによる稼働監視検証を試みるも、耐久性の問題で断念。

仮説

安川情報システムのコンサルティング

- ・IoT効果目標設定、課題整理、センサ選定、データ取得方法検討、ハードウェア、環境設定、コンサル提案書作成。

検証

安川情報システムの検証

- ・採掘現場でのデータ採取作業、センサ／装置とM2M機器の設置支援。
- ・データ一次分析、稼働監視に有効なデータのピックアップ。

採用

東空販売様

サービス化が本格採用決定。

■ 課題解決に向けた計画の立案
■ 実証実験レベルから支援

コンサルティング事例：油圧ブレーカ販売 東空販売様

4.IoTシステム開発・試験運用へ

IoT油圧ブレーカシステム『TO-MS』

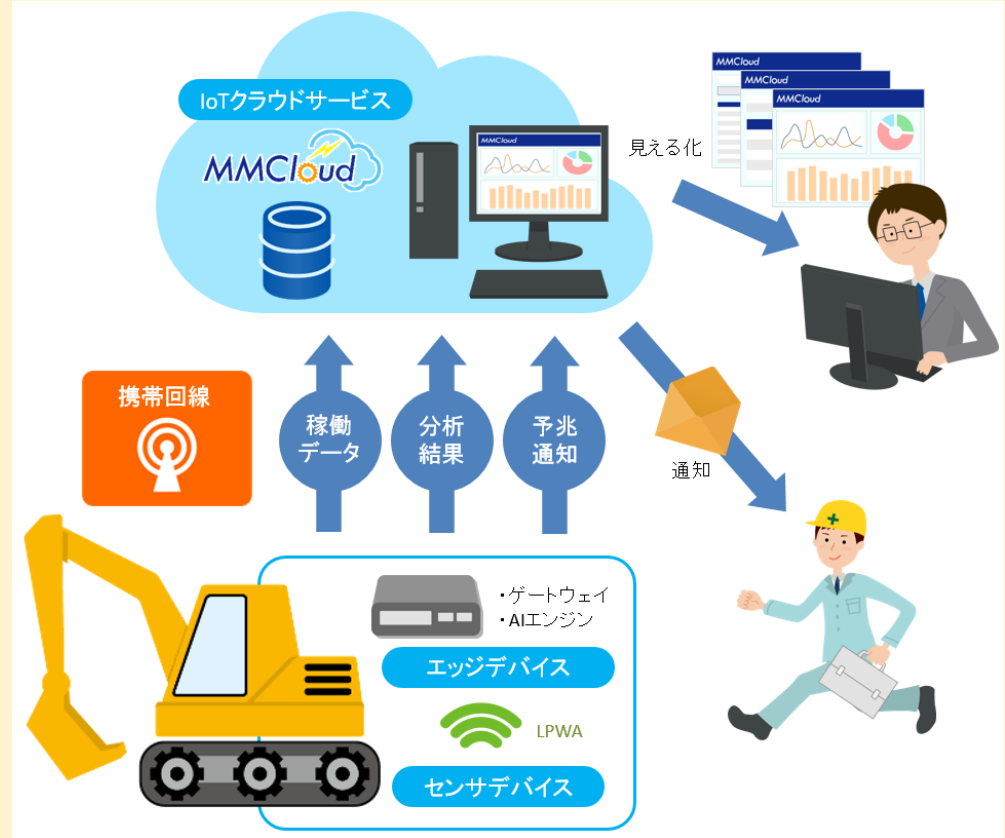
稼働時間・稼働場所の表示

- 稼働時間表示機能
- 所在地表示機能
- 機器情報表示機能



ブレーカの故障予兆分析

- AIによる機械学習
- 機器ダメージ判定



IoTでスマートな未来へ

YASKAWA 安川情報システム株式会社